

生産設備の集約について

2009年6月24日

JFE 鋼板株式会社

代表取締役社長 今村 晴幸

JFE 鋼板（本社：東京、社長：今村 晴幸）は、松戸製造所（千葉県松戸市）における生産を 2010 年 3 月末に終了し、京浜製造所（神奈川県川崎市）に集約することを決定いたしました。

国内薄板建材市場は、2007 年の建築基準法改正や 2008 年後半の世界的金融危機の影響を受け厳しい環境が続いております。

このような中、当社は、「エコガル」、「サニータ」等の新商品を開発し、お客様のニーズに応える商品の提供を進めると共にコストダウンに努めて参りました。今後もお客様ニーズに応える活動を第一目標に新商品開発・提供と各種合理化を更に進めて参ります。その一環として極薄板厚商品（Min0.11mm）の拡大強化を図るため、老朽更新を迎えている松戸製造所と京浜製造所の両溶融亜鉛鍍金設備の集約を図り、競争力と販売体制の強化を図ることと致しました。

松戸製造所は 1965 年に溶融亜鉛鍍金設備を稼動開始以降、今日まで亜鉛めっき鋼板・シート・波板、カラー波板の製造を行ってきており、溶融亜鉛鍍金設備は老朽更新時期を迎えております。この溶融亜鉛鍍金設備は、0.11mm の極薄板厚まで可能な国内唯一ラインであります。対象がフルハード規格（未焼鈍）に限定されておりました。また塗装設備も切板専用のためコイル対応が望まれる状況でした。

一方、京浜製造所の No.2 溶融鍍金設備も 1968 年稼動で老朽更新時期を迎えております。

この No.2 溶融亜鉛鍍金設備は、フルハード規格のみならず焼鈍材規格への対応も可能で、かつエコガルめっきが可能な上、外観調整を可能にするスキンパス設備を有しており、商品対応が幅広くできる設備で、設備改造により松戸受注品の極薄板厚材を含むすべてを取り込むことが可能となります。

以上より、今後の極薄板厚材の市場拡大、競争力強化、老朽更新投資の効率および生産効率の各観点より、京浜 No.2 溶融亜鉛鍍金設備へ松戸生産を集約することが最適と判断致しました。またカラー波板についても、極薄板厚カラーコイルの生産が可能な京浜 No.2 連続塗装設備に集約することと致しました。

この集約により極薄板厚めっき・カラーの商品群（コイル・シート・波板）の拡大が図られ、多様なお客様ニーズに応えられる体制が整います。

松戸製造所から京浜製造所への生産移管は、お客様のアプルーブ取得次第、本年 7 月よりカラー鋼板から順次開始し、2010 年 3 月末をもって全てを完了する予定です。

なお、本件にかかわる従業員の取り扱いについては、労働組合と協議し、原則京浜製造所への異動による雇用を継続する方針です。

また、集約後の松戸製造所の利用については今後決定する予定です。

松戸製造所 概要

名 称	JFE 鋼板 松戸製造所
所在地	千葉県松戸市上本郷 131
操業開始	1965 年 12 月
所 長	山田 恭裕
年間生産量	2 5 千トン (2008 年度)
主たる品種	溶融亜鉛めっき鋼板、溶融亜鉛めっき波板、カラー波板
工場敷地面積	23,030 m ²
従業員数	47 人 (2009 年 4 月現在)

<沿革>

- 1965 年 12 月 現地にて、川鉄鋼板株式会社が溶融亜鉛鍍金設備を設置し操業開始。
(昭和 40 年 12 月)
- 1972 年 2 月 切板塗装設備及び波板成型機を移設し操業開始。
(昭和 47 年 2 月)
- 2004 年 4 月 会社合併により、JFE 鋼板 (株) 松戸製造所に改称。
(平成 16 年 4 月)

京浜製造所 概要

名 称	JFE 鋼板 (株) 京浜製造所
所在地	神奈川県川崎市水江町 6-1
操業開始	1960 年 7 月 (現在地にて、日本鋼管 (株) 水江製鉄所としてスタート)
所 長	西江 泰介
年間生産量	1 9 8 千トン (2008 年度)
主たる品種	溶融亜鉛めっき鋼板、5 5 %アルミ-亜鉛溶融めっき鋼板、カラー鋼板
工場敷地面積	34,000 m ²
従業員数	1 2 5 人 (2009 年 4 月現在)

<沿革>

- 1960 年 7 月 現在地にて、日本鋼管 (株) が No. 1 溶融亜鉛鍍金設備を設置。
(昭和 40 年 7 月)
- 1968 年 12 月 No.2 溶融亜鉛鍍金設備及び No. 1、2 コイル塗装設備を増設。
(昭和 48 年 12 月)
- 1992 年 12 月 No.4 溶融亜鉛鍍金設備を増設。
(平成 4 年 12 月)
- 1999 年 6 月 日本鋼管 (株) より分離し、エヌケーケー鋼板 (株) に改称。
(平成 11 年 6 月)
- 2004 年 4 月 合併により、JFE 鋼板 (株) 京浜製造所に改称。
(平成 16 年 4 月)
- 2004 年 12 月 No.1 コイル塗装設備を休止。
(平成 16 年 12 月)